

令和5年度第2回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録

日 時：令和5年9月25日（月）17時00分 から 17時40分

場 所：京都大学宇治キャンパス 宇治おうばくプラザ セミナー室1 および Zoom による
ハイブリッド

出席者：別紙のとおり

配付資料：

資料1 京都大学防災研究所 自然災害研究協議会 委員名簿

資料2 令和5年度第1回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料3 本部・各地区部会の活動報告（中間）

3-1 本部、3-2 北海道地区、3-3 東北地区、3-4 関東地区、3-5 中部地区、

3-6 近畿地区、3-7 中国地区、3-8 四国地区、3-9 西部地区

資料4 第60回自然災害科学総合シンポジウム プログラム

資料5 科研費（特別研究促進費）：2023年5月5日の地震を含む能登半島北東部陸海域
で継続する地震と災害の総合調査

資料6 データベース SAIGAI 改革に向けた取り組みの進捗報告

【参考】京都大学防災研究所自然災害研究協議会規程

京都大学防災研究所自然災害研究協議会申合せ

議事に先立ち、中北 京都大学防災研究所長から挨拶があった。続いて、吉田 文部科学省研
究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室長から挨拶があった。

議 事：

1. 令和5年度 第1回協議会議事録（案）の確認

五十嵐委員より、資料に基づき説明があり、原案とおりました承された。

2. 令和5年度 本部・各地区部会からの活動報告及び今後の活動計画

資料3、5及び6に基づいて、本部及び各地区部会より中間報告について説明があり、原案
のとおり了承された。

（本部地区：五十嵐委員（資料3-1、5）、廣井委員（資料6）、北海道地区：菊池委員（資料
3-2）、東北地区：柴山委員（資料3-3）、関東地区：内村委員（資料3-4）、中部地区：野田委員
（資料3-5）、近畿地区：藤本委員（資料3-6）、中国地区：五十嵐委員【代理】（資料3-7）、四

国地区：五十嵐委員【代理】（資料3-8）、西部地区：塚原委員（資料3-9）

3. 今後の予定（第3回自然災害研究協議会開催について）

次回協議会は令和6年3月開催予定とし、詳細は後日調整することとなった。

4. その他

なし

次回、令和6年3月開催予定

最後に、日本自然災害学会・会長から相談があった。

日本自然災害学会と自然災害研究協議会の将来の連携について、日本自然災害学会の多々納裕一会長（京都大学防災研究所・教授）から提案があり、以下の認識を共有した。

- ・ 日本自然災害学会の年次大会は9月中旬ごろに実施されており、来年度は千葉大学で開催予定である。この年次大会と自然災害科学総合シンポジウムの開催は同時期であり、同じ自然災害を扱うことから、催しを連携できる可能性がある。
- ・ 科学研究費補助金。特別研究推進費による突発災害調査の申請・実施でも、緊密な連携が考えられる。
- ・ 当面は組織としての独立性を保ちながら、少しずつ連携を進める方向を引き続き検討することが望ましい。